

# 千葉県感染症発生動向調査情報

2022年 第5週 (1/31-2/6) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	5週	4週	3週	2週
小児科	17	16	16	16
眼科	5	5	5	5
インフルエンザ*	28	26	26	26
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数  
下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは  
報告患者数/報告定点数

定点	感染症名	千葉県					千葉県
		注意報	1/31-2/6	1/24-1/30	1/17-1/23	1/10-1/16	1/24-1/30
			5週	4週	3週	2週	4週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	2
	咽頭結膜熱		0	0	1	3	16
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	9	16	9	35
	感染性胃腸炎	↓	120	154	168	129	925
	水痘		1	2	1	3	14
	手足口病	○	6	3	2	1	13
	伝染性紅斑		0	0	0	1	1
	突発性発しん	○	10	6	8	6	31
	ヘルパンギーナ		0	1	0	0	7
	流行性耳下腺炎		0	0	0	0	4
インフル	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	0	0	6
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		0	1	0	0	2
基幹定点	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	1
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患: 6,323 例 ※ 新型コロナウイルス感染症6,315例は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	20歳代	IGRA検査	E型肝炎	男性	60歳代	血清IgA抗体の検出
結核	男性	60歳代	病原体等の検出	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	男性	80歳代	細菌の分離・同定及び薬剤耐性の確認
結核	男性	90歳代	病原体の分離・同定等				
結核	女性	70歳代	IGRA検査				
腸管出血性大腸菌感染症	女性	20歳代	病原体の分離・同定及びベロ毒素の確認	梅毒	男性	30歳代	血清抗体の検出
				新型コロナウイルス感染症	男女	0歳代-100歳代	病原体遺伝子の検出等

・第5週は、結核4例(11)、腸管出血性大腸菌感染症1例(2)、E型肝炎1例(4)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例(1)、梅毒1例(3)、新型コロナウイルス感染症6,315例(16,092)の発生届があった。

※ ( )内は2022年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

## 定点当たり報告数 第5週のコメント

### <感染性胃腸炎>

前週より減少し7.06となった。過去10年の同時期と比べるとほぼ平均レベル。区別の発生状況は、緑区(13.80)で流行発生警報終息基準値(12.00)を上回り最多で、同区の2歳で最も多く発生報告があった。

### <手足口病>

前週より増加し0.35となった。定点当たりの報告数としては少ない(流行発生警報開始基準値は5.00)が、第3週から連続して増加、過去10年の同時期と比べると最多で、これまで最多であった2011年(0.17)の倍以上となっており、この時期としては多い水準となっている。区別の発生状況は、稲毛区(1.00)で最多で、同区の2歳、4歳及び20歳以上で発生報告があった。

### <突発性発しん>

前週より増加し0.59となった。過去10年の同時期と比べると多め。区別の発生状況は、花見川区(2.50)で最多で、同区の1歳で最も多く発生報告があった。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

- ・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2022.pdf>

- ・ 区別の発生グラフ

[https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph\\_ward2022.pdf](https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2022.pdf)